令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・現2、3年生において、昨年度の授業改善から基礎・基本の定着を図り、目標値を上回ることができた。
- ・問題解決や考察場面を設定し、問題に対応できるよう授業を実施できた。
- ・単元の特性に応じてタブレット端末のアプリ等を活用することができた。

(2) 課題

- ・現状維持とともに基本の定着が不十分な生徒への継続したフォローアップが必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的態度	/	/
第2学年	知識・技能 ≍ 思考・判断・表現 ≍ 主体的態度	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 △ 主体的態度 ≍ (第1学年時)	/
第3学年	知識・技能 △ 思考・判断・表現 △ 主体的態度	知識・技能 ≍ 思考・判断・表現 ≍ 主体的態度 ≍ (第2学年時)	知識・技能 ≍ 思考・判断・表現 ≍ 主体的態度 ≍ (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を若干下回った。基礎基本が定着する課題の設定や実験器具の操作・実験の技能の定着が必要である。	目標値を若干下回った。課題の出し方や発問の工夫など、課題解決に向けた取り組みが必要である。	生徒が理科に興味を持ち、主体的に学習に取り組めるようにするために、授業を工夫していく必要がある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を若干上回った。基礎・基本の操作や実験の技能の定着、応用が必要である。	目標値を若干上回った。実験結果から理由を考察し、知識を活用できるようにしていく必要がある。	さらなる向上にむけて、主体性を養うための授業計画を工夫していく必要がある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回った。 引き続き小テストなどを実施し、基礎・基本の徹底をより強化していく。	目標値を上回った。 活用問題を解くための基礎知識をより定着させ、自分の考えを文章で表現する力を養う必要がある。	日頃から身近な現象に興味をもち、自ら解決しようとする姿勢を育成していきたい。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本知識・技能の定着を図るために、授業内で丁寧に用語の確認を行う。身近なもの結びつけて視野を広げる。副教材を活用し、丁寧なフィードバックを行う。	授業内で考察の時間を十分に取って、効果的な活動を行わせるために ICT 機器を積極的に活用していく。	自他の意見を交換することにより、いろいろなものの見方があることに気づかせ、いろいろな意見を共有する機会を増やしていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎・基本の知識を徹底するために、授業内での語句の確認や小テスト等を行う。夏季休業にはまとめプリント等の課題を設定する。	思考の時間を十分にとり、効果的に進めるために、ワークシートの工夫や ICT を積極的に活用していく。	班または学級での話し合いの機会を増やし、共有できる場を多く授業内で設けていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演習の時間を多く確保し、知識を定着させる。小テスト等で自身の状況を把握し、目標を持たせる。	まず表現するための知識を土台とし、図やグラフを用いた問題演習を多く行う。ICT を活用して発表するなどの活動も取り入れる。	導入時に身近な現象を紹介し、興味関心を引き出す。また、話し合い活動を取り入れ、発表の仕方を工夫し、班で協力することで問題解決に取り組む姿勢を育む。